

日教組香川

2017.7



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月1日発行

コーヒーはブラックもいりけど

学校のブラックはいやだ

出退勤記録がないことは労基法違反です!!

香教組でもない、香教連でもない、高教組でもない
全国で一番なかまの多い 日教組香川へ

6.5 県教委交渉 市町教委は法令遵守を！



手交する嶋村委員長と工代教育長

6月5日(月)、日教組香川は、香川県教育委員会と交渉を行いました。参加は嶋村中央執行委員長他5名、また、県教委からは工代祐司教育長他8名が出席しました。

以下は、県教委との交渉経過の概略です。

知事部局と同じように賃金カットはしない認識を日教組香川「教職員の賃金水準の引き上げを行うとともに、今後賃金カットを行わないように努力すること。また、給与の決定にあたっては、関係教職員団体と十分な協議を行うこと。さらに、公務・学校現場になじまない能力・実績主義に基づく給与・処遇への反映は拙速に行わないこと。」

県教委「人事委員会の勧告を尊重するということが基本として対応すべきものと考えている。給与に関する協議についても適切に対応したいと考えている。なお、同勧告を踏まえ、昇給及び勤勉手当に勤務実績を反映させているところである。」

日教組香川「知事部局の話では、県職員の賃金水準はラス45位と報告があったが、学校事務職員の賃金水準も同等と認識していいのか。」

県教委「学校事務職員としてのラスは出していない。」

日教組香川「教員の賃金水準は？」

県教委「教員のラスは、公式には出ていないが、非公式に作成すると全国中位ぐらいと見ている。」

日教組香川「3月13日の県職連合と総務部長交渉で、賃金カットはあってはならないと話があったが、教育委員会も同じ認識でいいのか。」

県教委「県人事委員会勧告に従う。」

学校事務職員、超勤限度枠をこえた手当支給を確実に

日教組香川「事務職員の超勤提示金額を超えてもいいか」

県教委「命令が必要。命令に基づくものは超勤として認める。」

日教組香川「6%の予算枠を超えても出るのか。」

県教委「適切な勤務であれば出る。ただし、一定額を超える場合は対応が必要である。」

日教組香川「現場の学校事務職員は、提示された4.数%しか出ないと思っている。超勤枠がないことを知らない。教育事務所にも請求があれば要求をはね除けずに支給するよう指導してほしい。」

法令にそった勤務管理を

日教組香川「教職員の超勤・多忙化解消のため、『労働法制の遵守』『定数改善』『業務改善』を柱とした具体的な解消策の策定を行うこと。また、地教委に同様の助言を行うこと。」

県教委「『教員業務改善アクションプラン』に基づき、調査等の削減・簡易化、研修会等の見直し、学校支援体制の充実、ICTの活用による業務の効率化等に取り組んでいる。教職員については義務標準法に則して配置している。教職員の労働安全衛生の対策や業務の適正化等に向けて、市町教育委員会に周知・指導を行っているところである。」

日教組香川「『教員業務改善アクションプラン』はいつまでの予定か？」

県教委「毎年、課題を検討して、必要に応じて対応している。」

日教組香川「『教員業務改善アクションプラン』の評価は？」

県教委「具体的数値はない。現場の声を聞きながら実施をしている。」

日教組香川「文科省が出した教職員の勤務実態調査は、香川県の様子と同じと考えていいのか。」

県教委「現状を捉えていると考えている。」

日教組香川「多くの教職員が、過労死ラインを超えてよくない状況という認識でいいのか。」

県教委「そうだ。」

日教組香川「給特法・給特条例が、現状にあっていないと考えるか。」

県教委「法令に基づいているとしか言えない。今後、中教審で審議されていくと考えている。」

日教組香川「臨時又は緊急の場合の限定4項目での超過は、回復措置があると考えていいか。」

県教委「そういうことでいい。」

日教組香川「県立学校では、どのように出退勤記録をつけているのか。」

県教委「各自でエクセルファイルに入力して校長に提出している。」

日教組香川「記録を収集して、過労死ラインを超えている場合は、管理職や本人への指導はあるのか。」

県教委「校長が管理している。」

日教組香川「県教委にその情報は上がってこないのか？」

県教委「上がってこない。」

日教組香川「『学校現場における業務の適正化に向けて』では、勤務時間管理の適正化で、『また、各都道府県教育委員会におかれては所管の学校及び域内の市

(指定都市を除く)町村教育委員会に対して、各指定都市教育委員会におかれては所管の学校に対して、本件について十分な周知を図るとともに、必要な指導、助言又は援助をお願いします。」となっている。各市町教委に調査はしたのか？」

県教委「市町に調査はかけていない。」

日教組香川「調査して、出退勤記録が無い場合は指導してほしい。高松市教委は『出退勤記録がない』と認めている。事務所の学校訪問で、出退勤記録の提出をもとめてほしい。厚生労働省『労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン』では、ICカードかタイムカードでの客観的な記録が必要である。法令の即した対応を指導してほしい。」

県教委「超過勤務の中、教職員の健康保持等を現場にお願いしている。」

校務支援員導入で教員本来の業務に専念を

日教組香川「学校事務における『共同実施』の確立と学校事務職員への権限移譲を進め、学校事務の効率化を行うこと。また、教員の業務負担軽減の観点から校務支援員の配置に向け地教委への働きかけを行うこと。」

県教委「学校事務職員については、義務標準法に則って配置している。」

県教委「校務支援員については、市町教育委員会と連携しながら、教員が子どもと向き合う環境づくりを進めるため実施している事業である。」

日教組香川「臨時・非常勤教職員の任用にあたっては、業務遂行に必要な適切な任用を行うこと。また、学校長に対し、任用されていない者が業務を行うことがないよう、指導・助言を厳格に行うこと。」

県教委「適切に任用を行っている。」

日教組香川「『香川型教育』における課題を整理し、学校現場の状況に応じた人員配置とともに、早期に30人以下学級の実現を図ること。」

県教委「少人数学級編成においては、小学校4年生までと中学校1年生で35人以下学級を実現している。小学校5・6年生と中学校2・3年生においては、少人数指導加配教員を活用した35人以下学級を実現することも可能としている。」

日教組香川「すべての子どもや保護者のニーズにあった『インクルーシブ教育』の推進とコーディネーターの養成に努めること。」

県教委「すべての小・中学校、高校では、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会が設置されるなど、支援体制の整備は進んでおり、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の充実に取り組んでいるところである。」

日教組香川「学校や地域の序列化につながるおそれがある全国学力・学習状況調査の結果を公表しないよう、引き続き地教委や学校に働きかけること。また、県学習状況調査の成果と課題を検討し、廃止の方向で検討すること。」

県教委「全国学力・学習状況調査等は、全体的な状況

との関係において、学校が自らの教育の成果と課題を把握し、指導の改善を図ることができる。」

人権・同和教育ハンドブックは全教職員一人ひとりに一冊を

日教組香川「人権・同和教育の充実をさらに進めること。『みんなですすめる人権・同和教育』の再検討版の発行を早急に行い、全教職員に配付するとともに、初任者研修や校内研修での活用を図ること。また、再改訂にあたっては、LGBTの子どもたちや教職員が過ごしやすい学校にするための視点を明記すること。」

県教委「人権・同和教育の充実は必要であると考えており、今後も新たな人権課題を加えながら各種研修会等に取り組んでいきたい。」

県教委「『みんなですすめる人権・同和教育』の再改定版については平成29年3月に発行し、ホームページに掲載するとともに、初任者研修での活用や各学校への配布を行ったところである。」

教育長から

「勤務時間の把握は、勤務時間の明確化とともに努力してほしい。」

労働時間の削減に関しては、大きな課題と理解している。教職員一人ひとりが意識をもってもらうことが大切だ。どうして遅くまで仕事をしなければならないか、もう一度考えてほしい。勤務時間の把握は、勤務時間の明確化とともに努力してほしい。

多忙化問題については、これからに、一緒に考えてほしい。

交渉を終えて

「現場管理職・市町教委は出退勤記録を。法令違反の現状を認識せよ！」

日教組香川は、学校現場の超勤・多忙化解消の具体策として、教職員増と勤務内容の明確化、給特法・給特条例等の法令の遵守等を教育委員会に求めています。

特に、多くの学校現場で、管理職が教職員の出退勤記録をつけておらず、当然その記録もなく、3年間の保存をしていない。市町教委もその記録の指導や記録簿の提出を求めている。今、法令違反の状態が続いています。そこで、この状況を改善することが、超勤・多忙化解消の一步ととらえ、進めていきたいと考えています。



日教組香川

日本教職員組合結成70周年レセプション 開催

6月8日、東京にて、日本教職員組合結成70周年レセプションが開催されました。

e-station(日教組HP)から

その日は晴れて、初夏の陽光が降り注いでいた。

全国から結集した800余人の代議員と傍聴者合わせて2000人を超える教職員の顔も晴々としていた。

1947年6月8日10時05分、奈良県橿原(かしはら)市、「ただいまより仮称日本教職員組合の結成大会を開会いたします」という岩崎久三準備委員長の開会宣言で結成大会ははじまった。

70年の時を経て、日教組運動の歴史をふりかえり、これからのさらなる躍進を確認する記念レセプションを開催しました。お集まりいただいた多くのみなさんの前で、泉雄一郎中央執行委員長は、日本国憲法とともに歩んできた70年をふりかえり、子どもの最善の利益を具現化する教育を追及していく、とあいさつを述べました。続いて、連合 神津里季生会長、E I フレッド・ヴァン・リューエン事務局長よりごあいさつをいただき、各政党の代表のみなさんからもごあいさつをいただきました。

最後は、70年前から日教組組合員だった大林浅吉さん(香川県 元中央執行委員 95歳)が緑の山河を尺八で演奏し、大合唱のもと閉会しました。

日本教職員組合は、70年の節目に不滅のスローガン「教え子を再び戦場に送るな」のもと、職場を原点とした未来につなげる運動をすすめていきます。



泉中央執行委員長あいさつ

日教組結成七十周年記念集会に参加して

大林 浅吉

6月8日、東京の東武ホテルで日教組結成七十周年記念レセプションが行われ、香川から日教組香川嶋村委員長と香川県退教協会長の私が参加しました。

集会では、泉雄一郎日教組委員長のあいさつに続き



70年前から日教組組合員 大林さん(香川)

て、松野文部科学大臣のメッセージ、E I事務局長フレット・ヴァン・リューエン氏の祝辞のあと、乾盃して歓談にうつり、連合会長や各政党代表の来賓祝辞が続きます。

閉会の前に、司会の岡島日教組副委員長から「本日参加の最高齢95歳、香川の大林浅吉さんを紹介します。1958年~1960年、勤評闘争・安保闘争の頃、日教組本部の中央執行委員をしておられました。」と紹介されて登壇、「私は70年前、日教組結成の時の組合員で、退職後は日退教に加盟して、香川県退教協の会長をしております。日教組結成七十周年を祝う歌を船村徹作曲の王将の曲で歌います。」と大きな声で歌い、最後に尺八で「緑の山河」を独奏、参加者全員で合唱して、大いに盛り上がり閉会しました。

日教組結成70周年を祝う歌

- 一．六月八日 今日この佳き日
日教組結成七十周年
いざ よろこびのこの盃を
ともに あげます おめでとう
- 二．あれやこれやと苦勞をかさね
生きてきました この七十年
勤評・安保・教育課題
教え子 再び戦場に送るな
- 三．明日の世界に生きゆくからは
何が何でもやらねばならぬ
平和憲法 守りぬくため
俺の闘志がまた燃える

「教え子を再び戦場に送るな」



勤務に関するアンケートの集計結果 やっぱり多忙化を実感！！

日教組香川では、この春期に「勤務に関するアンケート」を実施しました。今回は主に、一経と二経の方々からアンケートをお送りしましたところ、計27名の方からご回答がありました。遅くなりましたがご報告するとともに、アンケートへのご協力ありがとうございました。

なお、このアンケート結果は、職場の多忙化解消に向けて、県教委交渉等に生かさせていただきます。

- 1 職種
・教諭... 24名 ・養護教諭... 1名 ・事務職員... 1名 ・講師... 1名
計27名
- 2 校種
・小学校... 15名 ・中学校... 10名 ・高校... 1名
・特別支援学校... 1名
- 3 経験年数(講師期間を除く)
・小学校... 1年2名、2年3名、3年4名、4年3名、6年1名、7年1名、8年1名
・中学校... 1年1名、2年2名、3年1名、4年1名、6年2名、20年1名、35年1名、無回答1名
・高校... 15年1名
・特別支援学校... 19年1名
- 4 出勤時間はだいたい何時くらいでしたか。
《全体》
・6:00~6:30... 2名 ・6:30~7:00... 3名 ・7:00~7:30... 12名
・7:30~8:00... 10名 ・8:00~8:30... 0名
《小学校》
・6:00~6:30... 0名 ・6:30~7:00... 3名 ・7:00~7:30... 4名
・7:30~8:00... 8名 ・8:00~8:30... 0名 (事務1名、養護1名含む)
《中学校》
・6:00~6:30... 2名 ・6:30~7:00... 0名 ・7:00~7:30... 7名
・7:30~8:00... 1名 ・8:00~8:30... 0名
《高校》
・7:30~8:00... 1名
《特別支援学校》
・7:00~7:30... 1名
- 5 退勤時間はだいたい何時くらいでしたか。
《全体》
・16:30~17:00... 1名 ・17:00~18:00... 4名 ・18:00~19:00... 8名
・19:00~20:00... 5名 ・20:00~21:00... 5名 ・21:00~22:00... 4名
《小学校》
・16:30~17:00... 1名 ・17:00~18:00... 3名
・18:00~19:00... 5名(事務) (養護1名含む)
・19:00~20:00... 2名 ・20:00~21:00... 2名 ・21:00~22:00... 2名
《中学校》
・16:30~17:00... 0名 ・17:00~18:00... 1名 ・18:00~19:00... 2名
・19:00~20:00... 2名 ・20:00~21:00... 3名 ・21:00~22:00... 2名
《高校》
・18:00~19:00... 1名
《特別支援学校》
・19:00~20:00... 1名
- 6 土・日曜出勤(部活動以外)は、月平均(4週間)何回程度でしたか。
《全体》
・0回... 5名 ・1回... 6名 ・2回... 7名 ・3回... 2名
・4回... 4名 ・6回... 2名 ・8回... 1名
《小学校》
・0回... 4名(事務1名含む) ・1回... 3名(養護1名含む)
・2回... 3名 ・3回... 1名 ・4回... 3名 ・6回... 1名
《中学校》
・0回... 1名 ・1回... 2名 ・2回... 3名 ・3回... 1名
・4回... 1名 ・6回... 1名 ・8回... 1名
《高校》
・1回... 1名
《特別支援学校》
・2回... 1名
- 7 部活動やクラブ活動での土・日曜出勤は、月平均(4週間)何回程度でしたか。
《全体》
・0回... 14名 ・1回... 2名 ・2回... 1名 ・3回... 1名
・4回... 2名 ・6回... 3名 ・8回... 4名
《小学校》
・0回... 14名(事務1名、養護1名含む) ・1回... 1名
《中学校》
・3回... 1名 ・4回... 2名 ・6回... 3名 ・8回... 4名
《高校》
・1回... 1名

- 《特別支援学校》
・2回... 1名
- 8 多忙感を感じていますか。
《全体》
・強く感じている... 11名 ・感じている... 14名
・あまり感じていない... 2名 ・感じていない... 0名
《小学校》
・強く感じている... 6名 ・感じている... 8名(養護1名含む)
・あまり感じていない... 1名(事務) ・感じていない... 0名
《中学校》
・強く感じている... 4名 ・感じている... 5名
・あまり感じていない... 1名 ・感じていない... 0名
《高校》
・感じている... 1名
《特別支援学校》
・強く感じている... 1名
- 9 多忙だと感じる理由は、どのようなことですか。
《小学校》
・会議の多さ。担当している分掌の重さ。
・仕事が終わらない。保護者対応や子どもの指導に時間がさかれ、仕事が積み積もっていく。
一人一人気をつけないといけないことがある。教科の勉強、準備が終わらない。
・慣れてなくて、仕事がおそいから(要領が悪い)。
・家庭訪問、参観(懇談会)、運動会など行事が続くため。職員会議、終礼、団会が必ず勤務時間をオーバーするため。休日や勤務時間外に校外学習、宿泊学習の下見があるため(出張にならない)。
・仕事の量が多く余裕がない。家庭との両立が難しい。
・校務分掌が多い。事務的な処理ばかり。
・校務分掌 緑化
・やるが多すぎる。手が抜けない。
・職員会や校内研修、行事等の準備などに時間がかかると、事務作業をする時間が少なくなること。
・雑務が多い。
・育休明けだったので、子どもの朝の準備をし、お迎えの時間を考えながら働くことが初めてだったので、時間内に仕事を収めようと努力していたように思う。しかし、学級担任ではなかったので、比較的余裕があった。
・子どもが返るのが16:00なので、そこから事務作業や校務分掌の仕事、丸つけ等をしていると、定時16:30にはとても終わらない。しかし、これらの仕事を子どものいる8:00~16:00の間には不可能であるので厳しい。
・日々が追われている感じがするから。(嫌な多忙感ではない)
《中学校》
・複数の仕事が同時に進行しているとき。
・仕事量、種類が多すぎる。
・引き継ぎがあまりない 試行錯誤を繰り返す もっとうまくいく方法があるはず「データに残す」+「引き継ぎ」の感覚があまりに疎く、そのような研修等もあっていいと思う。「社会人」としてのマナーが身についていない。
・分掌が多いこと。
・行事が過密(4/11入学式の翌日4/12から修学旅行など)。1学年8クラス(1クラス35~36名)だったのが、翌年は7クラス(1クラス40~41名)(特別支援を含む)になるなど、つまりクラス数を減らすので教員数が少ないことになる。
・情報管理の問題から自宅でできる仕事が制限され、学校でしかできない仕事が多い。
・部活動に時間がとられ、担任業務や授業準備などを勤務時間外にやらなければならないから。
・担任業務の保護者対応。週末の部活動
・テスト期間中だけ休みがある。
《特別支援学校》
・伝達でもよいかなあ...と思うことを会議にするため、教材研究の時間が少ない。結局、勤務時間外や持ち帰りになる。
《養護教諭》
・会議が長い。現教が多い。
- 10 興味があるもの(複数回答)
・教科指導... 10名 ・生徒指導... 8名 ・特別支援教育... 5名
・人権・同和教育... 6名
・休暇などの制度... 7名 ・その他... 1名(クラス経営)
- 11 その他、日教組香川への要望があればお書きください
・産休、育休の制度を詳しく知りたい。
・教材研究の仕方を教えていただきたい。特に、国語や社会。
・研究会や現教ばかりして、目の前の仕事に手が付けられないのでは本末転倒ではないのか?
・力になって下さりありがたい。人権教育も力を入れたい いろいろところで、時間はつをして、いろいろ勉強会があればいいなあ...。

教育実践講座

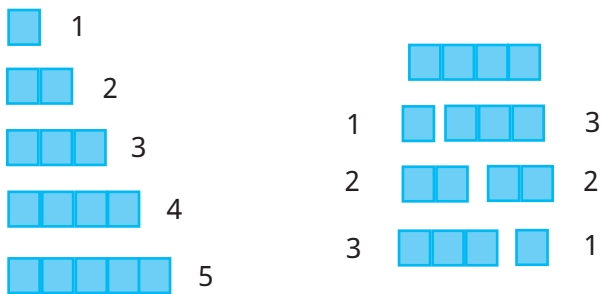
子どもは算数のどこで躓くのか？ つまり (数の合成分解)

石原清貴(元小学校教員)

1. 繰り返される悲劇2

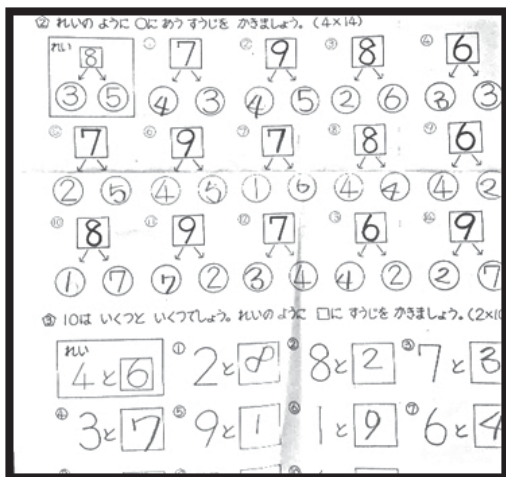
毎年、1年生の受け持ちと保護者を悩ませる算数の問題があります。それが一年生の足し算引き算に先立って行われる「数の合成分解」の指導です。教科書では「いくつといくつ」という単元名で出されます。

この単元は数が1ずつ増えて次々と構成されるといふ認識とは別に数はいくつかの数の塊の集合に分けられる事を知らしめるために用意された単元です。数がこのようにいくつかの数の集合の和としてあることが理解できていることはとても重要な事です。



しかし、重要であるからと言って、むやみやたらに10までの数の合成分解を唱えさせて覚えさせるたぐいのものではありません。あくまでも10までの数の範囲で「5は2と3に分かれる」とか「1と4にも分かれる」程度の操作的な認識が持てればよいのです。

ところがこの時期、学校から持って帰る宿題プリントには**数だけの合成分解を問う問題**がたくさん出題されます。



このようなプリントを持って帰った子どもは数図ブロックやタイルあるいはおはじきのような数を表す物がありませんから、混乱してしまいます。(どうして、物を使うように指示しないのでしょうか?)

そこで、宿題の面倒を見る家族が、「どうしてうちの子は7が4と3ぐらいのことが分からないのだろう

か?」と我が子の数の認識の弱さに驚くのです。

しかし、それは当然なのです。やっと1から10までの数の意味が分かったばかりなのに、それぞれの数の分解合成というレベルの高いことをやるわけです。それなりの物を使わないと理解できないのです。

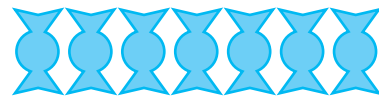


石原清貴氏

2 親はどのように対処すればいいのか?

こんな宿題プリントを持って帰って子どもが「分からない、教えて!」と言ったとき、親は決して「え、なんでこんな事も分からないの?」と思わないようにしましょう。6・7・8・9の合成分解は本当に難しいのです。間違っても「7から3除けると4残るやろ。だから4」などと引き算で説明しないことです。

家庭の中にある形の同じ物を探して持ってきてみましょう。あめ玉がいいかもしれません。



そして、「あめ玉が7個あるよね。母さんが3個もらおうよ。じゃあ、A子ちゃんは何個もらえるかな」というクイズを出して遊びましょう。実はこの数遊び体験だけで十分に「数の合成分解」の目的を達成しているのです。

実は数の合成分解を数だけでやると唱え暗記主義に陥り、子どもは数の合成分解は覚えないといけないと考えてしまうのです。そして覚えられないと劣等感を抱きます。大切なことは数ではなく物を使って合成したり分解したりする遊び体験なのです。こういった遊び体験をたくさんしている子は数のセンスが良くなります。それが足し算引き算の基礎体験です。

教訓

数だけの合成分解出来なくて当たり前。物を使って楽しく数を学ぼう。

日教組香川教育研究集会

日時：8月5日(土) 13:00～16:45

場所：ルポール讃岐

(香川県高松市中野町23-23 087-831-3330)

第1部 講演「土佐町から日本へ。教育にかける夢を話し合おう」

＜鈴木 大裕さん＞ 教育研究者。NPO法人 SOMA 副代表理事

16歳で米国に留学、コールゲート大学教育学部卒、スタンフォード大学大学院修了(教育学修士)、日本に帰国し2002年から千葉市の公立中に英語教諭として6年半勤務。2008年に再渡米し、フルブライト奨学生としてコロンビア大学教育大学院博士課程へ。現在は高知県土佐町で教育を通じた町おこしに取り組むかたわらで、県立嶺北高校の学校支援地域本部コーディネーターを務め、執筆や講演活動も行っている。著書に『崩壊するアメリカの公教育：日本への警告』(岩波書店)

参加希望は
日教組香川まで

第2部 リポート発表

火災共済
住宅災害等給付金付火災共済
自然災害共済

盗難も補償!
もちろん地震もしっかり補償!

持ち家の方も、賃貸の方も、家財契約があるか確認しましょう!

資料請求・
お問い合わせは

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

FAX (0800) 200-2207 電話 (0120) 27-8140

ホームページからも
資料請求いただけます

教職員共済

検索

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

5分でカンタン見積!

カナリア通信 ちょっとお出かけです

十年ぶりのUSJ。新しいアトラクションや、一人だったら絶対に乗らない絶叫系アトラクションにも挑戦し、非日常を楽しみました。広い敷地を歩いていると、えさを探して飛び回る元気のよい鳥たちを何羽も見かけました。どこで見ているのか、エサを見つけやすい場所を知っているのか、気が付くと視界に入ってきて、飛び跳ねるようにエサを探し出して、あつという間に去っていきます。道を覆い隠す程の人の数に臆することなく、低空を飛んで来て、人が座るすぐ横にとまるハト。石畳やデッキの床板に勢いよく飛んで来て、チョコチョコ・サツとポツポツンやお菓子のくずをくわえて去っていくスズメ。自信满满で、人を恐れる様子もなく、堂々と飛び回る鳥たちに、いつしか見入ってしまった非日常の隣にあった力強い現実。それもまた面白く楽しめました

Tea, Coffee and Cakes**JTU-Kafe Open****pm 6:00-8:00 Thu, Jul 27, 2017****Sato Bldg. 1F 15-24 Nakano-cho Takamatsu-city, KAGAWA****tel. 0120-27-5925 fax.087-802-1642**

「JTU-Kafe」は「JTU-Kagawa (日教組香川)」と「Cafe」を組み合わせた造語です。組合事務所で執行委員が、お待ちしております。相談ごとなどありましたら、お気軽にお越しください。飲み物とお菓子を用意しています。電話やファックスでの相談もできます。なお、日教組香川組合員で無い方も歓迎です。ただし、その場合、お茶代500円をいただきます。

日教組香川 組合加入説明会 開催!

日時 2017年7月17日(月:海の日) 11:00 ~ 12:00

場所 日教組香川事務所

ただいま新組合員組合費 1000円/月キャンペーン中

組合って何をするとところ?

組合費は?

組合に入ると得することありますか?

ご質問に
お答えします

電話でもOK

すべての

お問い合わせは

TEL **0120-27-5925** (日教組香川教職員組合)URL <http://www.jtu-k.com/>MAIL jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp**日教組香川加入メニュー**

日教組香川には、香川県の公立学校で働く教職員であれば、どなたでも加入することができます。校種・職種は問いません。

メニュー	月会費	各種サービス
組合員	初年度 月1,000円 その後、 年齢ごとに 2,000円 ~ 5,000円	情報誌等配布・各種研修会案内 全国集会等旅費負担・個別課題への対応
講師 臨時採用 組合員	月1,000円	組合員に準ずる

月1,000円で全国のなかまと会える!